

3. 平成25～27年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	外国語科目群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語				備考	
		人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群		拡大科目群
文	平成27	8単位以上	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由で計36単位以上(ただし、人文・社会科学系科目群から8単位、自然・応用科学系科目群から6単位以上修得すること)	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、文学部提供全学共通科目「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しない。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に必要な単位として認定する。	
		20単位以上	6単位以上	16単位以上	EDFCRISKA※のうちからEDFEいづれか一つを含め2カ国語それぞれ8単位以上		
法	平成27	20単位以上	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能。ただし、拡大科目群の科目による代替は4単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2単位を上限とする。	※E8単位のうち2単位については、「法学政治学英語I・II」各1単位を修得すること。「法学政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。	
		法学部基礎演習を修得した場合は、人文・社会科学系科目群の単位として扱う。	6単位以上	16単位以上	E8単位、およびDFFCRISKAのうち、いづれか1カ国語8単位以上		
経	平成26	10単位以上	8単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能。ただし、単位互換科目は認めない	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、「経済英語A・B」いづれかで修得すること。「経済英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※スペイン語I(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)・「経済・経営日本語(上級)I・II」(令和2年度より廃止)から8単位を修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ	
		10単位以上	8単位以上	16単位以上	EDFCRISKAのうちから2カ国語それぞれ8単位以上		
理	平成27	専門基礎科目(理学部が指定した【全学共通科目】と【理学部科目】)					※京都大学国際教育プログラム(KUINEP)(平成29年度より廃止)は、自然・応用科学系科目群以外の科目を履修した場合に、それぞれの群で卒業に必要な単位として認める。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級・日本語上級から4単位以上6単位まで修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ
		12単位以上20単位まで	24単位以上38単位まで	10単位以上13単位まで	4単位まで	46単位以上75単位まで	
		拡大科目群の少人数教育科目(ボケット・ゼミ)をふくめてもよい。ただし、人文・社会科学系科目群の6つの系(哲学・思想系、歴史・文明系、芸術・言語文化系、行動科学系、地域・文化系、社会科学系)から3つ以上の異なる系の科目を修得すること。	現代社会適応科目群及び拡大科目群(少人数教育科目(ボケット・ゼミ)、単位互換等科目)から合計4単位まで。ただし、専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。	10単位以上13単位まで	4単位まで	46単位以上75単位まで	

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
工 〈地球工〉 【国際→4以 外】	平成27	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社会 適応科目群(情報基礎 〔工学部〕、情報基礎演習 〔工学部〕を除く)、拡大 科目群(単位互換科目除 く)から1.6単位以上2.0 単位まで	自然・応用科学系科目群、 現代社会適応科目群(情報 基礎〔工学部〕、情報基礎 演習〔工学部〕のみ)で指 定する科目から3.1単位以 上(※1)	E7単位以上、およびDF CRISKA日のうちから 1か国語4単位以上(※ 2)	人文・社会科学系科目群、現代社会適 応科目群(情報基礎〔工学部〕、情報基礎演習〔工学部〕 を除く)、拡大科目群(単位互換科目除く)から1.6単位以 上2.0単位まで	58単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で指定する 科目については、(2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2) E7単位のうち1単位については、科学英語(地球)等1 単位を含むこと。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択 することができる。	
		人文・社会科学系科目群お よび拡大科目群(1.2単位 以上)、現代社会適応科目 群(情報基礎〔工学部〕、 情報基礎演習〔工学部〕を 除く)、拡大科目群(単位 互換科目除く)から1.6単 位以上2.0単位まで	自然・応用科学系科目群、 現代社会適応科目群(情報 基礎〔工学部〕、情報基礎 演習〔工学部〕のみ)で指 定する科目から3.1単位以 上(※1)	日6単位以上、Scientific English及びAdvanced Scientific Englishから6 単位以上 日本人学生は、日の代わり にDFCRISKAのうち から6単位以上	人文・社会科学系科目群および拡大科目群(1.2単位以 上)、現代社会適応科目群(情報基礎〔工学部〕、情報基 礎演習〔工学部〕を除く)、拡大科目群(単位互換科目除 く)から1.6単位以上2.0単位まで			59単位以上
工 〈理工 化学〉 ※令和5年度 以前の学科名称 は工業化学科	平成26	1.6単位	2.8単位以上	E6~7単位〔科学英語 (創成化学)(工業基礎化 学)(化学工学)は平成2 7年度より工学部科目(専 門科目)2単位へ変更する が、取り扱いは全学共通科 目外国語科目群1単位とす る。〕、およびDFCRIS KA日のうちから1か国 語4単位以上(※2)	選択(3単位まで)	61単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群で指定する科目については、 (2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2) 外国語科目群のEでは、総合人間学部以外が提供する他学 部他学科提供の英語科目は認めない。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上を修得すること。なお、日本語を選択できるのは外国 人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP)科目(平成29年度より廃止)は、 1科目2単位まで、卒業に必要な単位数に含める。 ※工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認 定しない。	
		指定する科目から必修科目 8単位及びその他科目2.0 単位以上、計2.8単位以上 (※1)	1.0単位~1.1単位	情報基礎〔工学部〕・情報 基礎演習〔工学部〕のみ卒 業に必要な単位として認め る	選択(6単位まで)			スポーツ実習科目、少人数 教育科目(ポケット・ゼ ミ)のみ卒業に必要な単位 として認める
	平成27			E6単位、およびDFCR ISKA日のうちから1か 国語4単位(※2)				

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

文学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L (文学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群について

「日本古代・中世政治文化論」(平成28年度より廃止)、「日本古代・中世の歴史社会」(平成28年度より廃止)、「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」(令和7年度不開講)、「中国歴史地理論」(令和7年度不開講)、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目(自由選択)として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学系科目群に変更することができます。手続き期間は4月及び10月のみです。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。

(3) 外国語科目群について

① 英語を履修する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)(平成29年度より廃止)を修得しなければなりません。なお、「文学部英語A」・「文学部英語B」は2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として各自の所属する系(基礎現代文化学系は志望する専修)を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に所属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。「文学部英語A」の単位未修得者は「外国文献研究(文・英)A-E1」を、「文学部英語B」の単位未修得者は「外国文献研究(文・英)B-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上を修得してください。「フランス語Ⅰ(8Hコース)」は、16単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅰ(6Hコース)」は、12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅱ(6Hコース)」、「フランス語Ⅱ(6Hコース)」は、12単位のうち4単位のみ卒業に必要な単位として認めます。なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

③ 文学部の学部科目として開講している[フランス語中級、上級]を全学共通科目「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」の外国語科目群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録(事前申込(外国語予備登録、先着順申込)が必要)してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。

④ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

法学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J (法学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群

法学部基礎演習は、法学部が法学部1回生に提供する教養科目です(後期に開講、2単位)。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学系科目群の科目と同じに扱われます。

(3) 外国語科目群

① 英語8単位のうち2単位については、「法学政治学英語Ⅰ・Ⅱ」(各1単位)(平成29年度より廃止)の2単位で修得しなければなりません。「法学政治学英語Ⅰ」の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)Ⅰ-E1」を、「法学政治学英語Ⅱ」の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)Ⅱ-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

② 「フランス語Ⅰ(8Hコース)」の修得単位数については、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。

③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

経済学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1学期につき15コマ(30単位)です。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。なお、通年科目については、前期・後期の両方とも履修登録コマ数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。

① 文系用数学講義(経済学一般の学習やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「線形代数学A・B[文系](合せて4単位)」「微分積分学[文系](2単位)」または数学基礎A・B[文系](合せて8単位)を履修してください。

② 理系用数学講義(理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

微分積分学(講義・演義)A・B(合せて6単位)、線形代数学(講義・演義)A・B(合せて6単位)を履修してください。なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ(合せて4単位)、線形代数学統論(2単位)も履修することを推奨します。

(2) 外国語科目群について

① 英語は、「英語Ⅰ」(平成28年度より廃止)又は「英語Ⅱ」(平成31年度より廃止)から6単位、「経済英語A・B」(平成29年度より廃止)いずれか2単位を含む計8単位を修得してください。「英語Ⅰ・Ⅱ」の単位未修得者は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。「経済英語A・B」の単位未修得者は、「外国文献研究(経・英)A・B-E1」を履修し、単位を修得してください。いずれも、単位修得した場合は、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

② ドイツ語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「ドイツ語Ⅰ(6Hコース)」は、12単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の修得が必要です。

③ フランス語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「フランス語Ⅰ(8Hコース)」は、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の修得が必要です。

④ スペイン語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業に必要な単位に算入しません。

⑤ 中国語・ロシア語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ⑥ 日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語（上級）、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」（令和2年度より廃止）から計8単位を修得してください。
- ⑦ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

理学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 指示事項

(1) 人文・社会科学系科目群について

人文・社会科学科目群で開講される「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」の各分野の科目を履修し、単位を修得した場合、それぞれ「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・言語文化」、「行動科学」、「地域・文化」、「社会科学」の各系の科目と読み替えます。

平成29年度から留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目を履修し、単位を修得しても、単位修得が必要な3つ以上の異なる系の1つとしても、卒業に必要な単位としても認めません。

(2) 外国語科目群について

① 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成25～27年度入学者用（1）各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」（p.261）の表のとおりとします。

② 理学部では、英語について、外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成28年度まで開講されていた「科学英語（理学）」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成29年度から令和6年度まで開講されていた「科学コミュニケーション（理・英）-E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。（複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。）

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングーリスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

(3) 本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2025年度 教科の手引き』の「Ⅲ. 系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

工学部〈地球工学科〉

1. 履修登録単位数の上限について

平成27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の一覧表に示された各科目群に関する指示事項を下記に示します。ただし、その表に示された科目群は、平成27年度までの旧分類であり、平成28年度からは新しい科目群名称となっており、科目によっては所属する分類が大きく変わっている場合がありますので、注意して下さい。各授業科目の群分類は、p.259にその新旧の対応が記載されています。

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群、現代社会適用科目群、拡大科目群について

これらの科目群から人文・社会科学科目群 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

国際コースの学生は人文・社会科学科目群および拡大科目群から 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

各授業科目がこれらの旧科目群分類のどれに属するかは p.259 で確認して下さい。

(3) 自然・応用科学系科目群について

平成 28 年度より「環境生物・化学」は、学部専門科目として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は全学共通科目の自然・応用科学系科目群として認定されます）。

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

この表は平成 28 年度以降の新しい科目名で示しています。

科目名	単 位	必選択等			科目名	単 位	必選択等		
		土木・資源・環境	国際				土木・資源・環境	国際	
自然現象と数学	2	◎		◎	基礎有機化学Ⅱ	2	○		—
微分積分学（講義・演義）A	3	◎		◎	基礎化学実験	2	○		—
微分積分学（講義・演義）B	3	◎		◎	図学 A	2	○		—
線形代数学（講義・演義）A	3	◎		◎	図学 B	2	○		—
線形代数学（講義・演義）B	3	◎		◎	微分積分学統論Ⅰ	2	◎		◎
基礎物理化学（熱力学）	2	◎		—	微分積分学統論Ⅱ	2	◎		◎
基礎物理化学（量子論）	2	◎		—	線形代数学統論	2	○		○
物理学基礎論 A	2	◎		◎	振動・波動論	2	○		○
物理学基礎論 B	2	◎		◎	無機化学入門 A	2	○		—
熱力学	2	○		○	無機化学入門 B	2	○		—
力学統論	2	○		○	生物自然史Ⅰ ※3	2	○		—
物理学実験	2	○		—	生化学入門	2	○		—
基礎地球科学 A ※1	2	○		○	細胞と分子の基礎生物学	2	○		—
基礎地球科学 B ※2	2	○		—	地質工学入門	2	◎		◎
基礎有機化学Ⅰ	2	○		—					

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

— 印は、卒業に必要な単位として認定しない科目

※1 「基礎地球科学 A（地球システムの歴史と変遷）」及び「基礎地球科学 A（現在の地球の活動と私たち）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※2 「基礎地球科学 B（地球システムと環境）」及び「基礎地球科学 B（地球誕生から現在まで）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※3 令和 6 年度より廃止。

(4) 外国語科目群（英語）における「科学英語（地球）」（平成 29 年度より廃止）について

国際コース以外の学生には、英語は 7 単位（「科学英語（地球）」等を含む）の修得が定められています。平成 28 年度より「科学英語（地球）」は、学部専門科目（クラス指定）として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は、全学共通科目の外国語科目群（英語）として認定されます）。

また、英語Ⅱは平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングーリスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

(5) 現代社会適用科目群における「情報基礎（工学部）」「情報基礎演習（工学部）」について

平成 28 年度からの新分類で情報学科目群に属する上記 2 科目は、(3) に示した「学科が指定した自然・応用科学系科目群の科目」と見なします。すなわち、それらとの合計で修得単位数 31 単位以上が卒業要件となっています。また、現代社会適用科目群の単位にはなりません。なお、「情報基礎演習（工学部）」は、平成 28 年度より 2 単位科目として開講されますが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定されます。

(6) 国際コースについて

国際コースは、英語で提供される同コース向けの全学共通科目（(3)～(5)については、授業一覧の備考欄に [InternationalCourse] と記載のあるもの）のみ単位認定します。指定科目については、学部の履修要覧を参照してください。

また、国際コースの「Scientific English II (Presentation & Discussion)」の未修得者が「Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)」を、「Advanced Scientific English (Debate)」の未修得者が「Advanced Scientific English-E3 (Debate)」を、それぞれ履修し、単位を修得した場合、外国語科目群の「Scientific English II (Presentation & Discussion)」、「Advanced Scientific English (Debate)」の単位として認定します。ただし、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認めます。

工学部<理工化学科>

※令和5年度以前の学科名称は工業化学科

1. 履修登録単位数の上限について

平成26、27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	基礎物理化学 (熱力学)	2	必
微分積分学 (講義・演義) A	3	◎	基礎有機化学 I	2	必
微分積分学 (講義・演義) B	3	◎	基礎有機化学 II	2	必
線形代数学 (講義・演義) A	3	◎	基礎化学実験	2	◎
線形代数学 (講義・演義) B	3	◎	微分積分学統論 I	2	
統計入門	2		微分積分学統論 II	2	
物理学基礎論 A	2	◎	熱力学	2	
物理学基礎論 B	2	◎	振動・波動論	2	
物理学実験	2	◎	力学統論	2	
基礎物理化学 (量子論)	2	必	解析力学	2	

必 は必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

* 基礎物理化学 (量子論)・(熱力学)、基礎有機化学 I・II を再履修する場合は、理工化学科 (令和5年度以前の学科名称は工業化学科) の前年度と同じクラスで履修することが望ましい。